愛知民報

2015年
4月26日
第2255号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円　1部100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

激戦のいっせい地方選挙後半戦

全員当選へ奮闘

日本共産党 70人立候補

いっせい地方選挙後半戦の一般市町村議会議員選挙は26日の投票へ向け、激戦、接戦になっています。日本共産党からは70氏が立候補。同党は「全員勝利で『戦争立法』など安倍自公政権の暴走政治に『ノー』の審判を下し、くらし・福祉第一の市町村政を」と最終盤の支持の拡大に全力をあげています。

街頭で支持を呼びかける（左から）伊藤、原田、宮地、内田の春日井市議候補

尾張中部地区

基地強化反対の論戦

尾張中部地区では1市1町で5人の日本共産党候補者が議席確保へ全力をあげています。

同地区は航空自衛隊小牧基地と滑走路を共用する県営名古屋空港の地元。同党の候補者は「名古屋空港を海外の戦争に出撃する基地にしてはならない」と強調。戦争立法反対、基地機能強化に反対する論戦の先頭に立っています。

春日井市（定数32）では、内田けん（現・64）、宮地ゆたか（現・67）、伊藤けんじ（現・42）、原田ゆうじ（新・30）の4候補が最終盤の宣伝・支持拡大に懸命です。

春日井市議選は9人はみだしの多数激戦。日本共産党の4候補は、全小中学校の普通教室冷房設置、中学校卒業までの医療費無料化などの実績を紹介。学校給食費の無料化やバス路線の充実などの政策を示し、選挙勝利へ全力をあげています。

豊山町（定数10）では、山本りょうすけ候補（新・28）が議員の病気辞職にともなう日本共産党の議席空白克服をめざし奮闘中です。

尾張東部地区

5市で議席増に挑戦

尾張東部地区では、5市1町の日本共産党候補が現有8議席から12議席をめざして奮闘中です。

瀬戸市（定数26）では原田学（現・65）、浅井ことみ（新・54）、やびく康隆（新・45）の3候補が現有2から3への上積みに懸命。

同党の3氏は、「オール与党」が介護保険料引き下げなどを求める請願に反対したことを批判。「市にため込まれた37億円を活用し、国民健康保険料や介護保険料の引き下げ、高校卒業までの医療費無料化など福祉充実を」と訴えています。

原田学候補

浅井ことみ候補

やびく康隆候補

尾張旭市（定数21）では、川村つよし（現・45）、さかきばら利宏（新・57）の2候補が複数議席をめざしています。

豊明市（定数20）では、郷うこん修（新・37）、むらせ康弘（新・52）の2候補が複数議席へ全力。

日進市（定数20）では、坂林たくみ（現・52）、ごとうみき（新・35）の2候補が複数議席の回復に奮闘中。

長久手市（定数18）では、原田ひでとし（現・67）、林みすず（新・57）の2候補が議席増に挑戦。

東郷町（定数16）では、かどはら武志氏（現・46）が議席確保へ支持を訴えています。

知多地区

4市4町15氏が激戦

知多地区では4市4町で15人の日本共産党候補者が奮闘中です。

半田市（定数22）では、山内さとる（現・58）、山本かよこ（新・67）の両候補が現有2議席死守に懸命。山内、山本両氏は巡回バス運行などくらし応援の政策を語り、支持を呼びかけています。

山内さとる候補

山本かよこ候補

常滑市（定数18）では、西本まさき候補（現・44）が現有1議席確保を訴え。

大府市（定数19）では、久永かずえ（現・46）、森山まもる（現・52）、細川ゆうじ（新・58）の3候補が現有3議席確保に向け全力をあげています。

知多市（定数20）では、久野たき（新・62）、中平タケシ（新・28）の両候補が前回選挙で獲得した2議席の回復をめざし、支持拡大に奮闘中です。

阿久比町（定数14）では、竹内つよし候補（新・64）が議席確保へ支持を呼びかけています。

東浦町（定数16）では、平林良一氏（元・66）、杉下くにこ氏（新・32）の2候補が前回の1議席から2議席に拡大へ支持を呼びかけています。

美浜町（定数14）では、鈴木みよ子（現・67）、山本たつみ（現・63）の2候補が現有議席確保をめざし懸命の取り組みです。

武豊町（定数16）では梶田すすむ（現・69）、のだ佳延（新・65）の2候補が全力をあげています。